



とべだより

平成31年1月31日

2月号

横浜市立戸部小学校

あきらめない強い心

学校長 柳澤 潤



本校の東門にある梅の木に、一輪の花が咲きました。

子どもたちを朝のあいさつで迎えるときに、梅の蕾がだんだん膨らんできたことに気づき、いつ咲くか楽しみにしていたところ、1月25日の朝、ぱっと花が開きました。調べてみると、梅の花芽は、前年の夏には既にできているそうです。秋になると休眠に入り、一定期間低温にさらされることで、この休眠から目覚めるといいます（休眠打破）。その後、さらに成長を進め開花するそうです。

冬の寒さは、あらゆる命を鍛えます。寒風の中で、元気に走り回る子どもたちの姿を見ていると、とても頼もしくうれしい気持ちになります。5年生の球技大会に向けての早朝練習でも、大きな声を出して、サッカー、バスケットボールのゲームに取り組む姿が見られました。「寒げいこ」という言葉があるように、寒さの中でこそ、体を鍛えてほしいと願っています。

1月11日、オリンピックの田中光氏をお迎えしました。田中氏は、アトランタオリンピックの体操代表選手です。本校の創立140周年を記念して、全校児童に向けての記念講演、そして、5・6年生に向けての跳び箱指導をしていただきました。記念講演は、リズム体操とマットの模範演技が含まれています。リズムと掛け声に合わせて、休むことなくジャンプが続きました。掛け声が面白く、テンポがよいので、体が止まりません。体を動かす心地よさを満喫しました。いただいたメッセージは、夢をかなえるためには、「あきらめない強い心が一番大事」ということ。世界で戦ってきた人の一言には、説得力があります。また、「こつこつ続けること、あきらめたら、そこでストップしてしまう」など、話してくださり、「いろいろなことにチャレンジしてほしい」と、子どもたちへの大きな期待をかけてくださいました。みんなで「あきらめない」と、繰り返し叫んだことも子どもたちの心に残りました。

マットの模範演技は、基本の前転・後転からです。連続技では、手のひらで逆立ちするだけでなく、手の甲を使って逆立ちする瞬間もあり、自由自在の動きで驚きました。そして、空中回転の大技まで披露してくださいました。

跳び箱指導のあと、校長室で少しお話をする時間がありました。「子どもたちは、たくさんジャンプをして、楽しそうでしたね」と、お伝えすると、「ジャンプをすると、幸せホルモンが出るんですよ。ドーパミンが出るんですよ」と、教えてくださいました。また、子どもたちへのメッセージを依頼したところ、色紙に「あきらめない」と書いてくださいました。創立140周年開幕の年を、夢いっぱい、そして、幸せいっばいにスタートを切ることができました。

2月、3月は、とべファン、卒業式と、大きな行事が続きます。保護者、地域の皆様のご支援、ご協力をよろしく願います。